

諸行とは、肉体と精神つまり眼・耳・鼻・舌・身・意の六根から得る感覚や思いをも含め、さらに地球上や宇宙の物質全てを含む一切を言います。この一切の現象は、一瞬の停止もなく刻一刻移ろうもので生滅変化するのです。これが「諸行無常」なのです。

釈尊は「無常なるものは苦なり」と説かれました。私達の肉体は青年期を過ぎれば、年と共に衰えやがて死を迎えます。財産・地位・名誉もいつ悪化するかも知れません。時刻は瞬間的に過ぎ、二度と再び還えることはありません。

釈尊はこの世の無常を知ることによって、おごりと執着を捨て、謙虚な心で日々精進すれば、苦しみ悩みが解消可能だと云うことを「諸行無常」の教えに示されました。これは仏教だけの教えではなく他の宗教や哲学・科学にも説かれる真理なのです。